

区分	評価指標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	対前年度比	図書館運営全体								
図書館運営	基本的サービス					自己評価		外部評価						
	資料購入費・決算数値(千円)	15,154	14,894	14,626	1.8%減	蔵書冊数の減については、来年度の 新津図書館改築のため、古い図書の除籍・ 買い替え等ため大きく減少している。	1 大変評価する。 25% 2 ある程度評価する。62.5% 3 評価できない。 12.5%	<ul style="list-style-type: none"> 新しい図書館作りの目標としてやはり資料の更新は必要です。古くても活用できるものは検索で利用できるよう(目録やパソコン)に整備してほしい。 人口の割りに登録者数が少ないように感じられる。年々増加していることはプラス評価。 2件の件数は改築のための致し方のない数値だと思います。登録者数は除籍を加味しない累積数だと思います。もしそうであるならば、あまり意味を持たない数値ではないでしょうか。 除籍・更新は必要であり、基準・判定は大変な作業であったと思う。電子媒体などにし、コンパクト化する必要があるだろう。新規登録者の減少は、改装後経過をみる必要があるだろう。 改装後の「増」に期待。 						
	蔵書冊数(点)	175,774	182,441	170,106	6.8%減									
	貸出冊数(点)	278,850	312,322	312,108	0.1%減									
	登録者数(人)	7,451	9,083	9,943	9.4%増									
(内新規登録者数)	883	1,016	958											
区分	評価指標	平成22年度	平成23年度	H24目標値	理由	平成24年度	評点	評価(次年度への展開)						
施策・事業(オンライン各館)	課題解決型図書館					自己評価		外部評価						
	レファレンス件数(件)	301	451	450	亀田図書館開館のため、荻川が減ると予想	396	1	<ul style="list-style-type: none"> 個人予約件数については、22年度オンライン化により年々増えている。 レファレンス件数の減少について、職員が利用者の声を拾い上げる積極性が足りなかった。 	1 大変評価する。 0% 2 ある程度評価する。87.5% 3 評価できない。 12.5%	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の相談窓口とも言えるのが、レファレンスではないでしょうか。来る人こぼれませんが精神と笑顔の対応を! 窓口があまり忙しいそうだと声をかけにくい。レファレンスサービスを知らない人がいる。 いくら小規模図書館とはいえレファレンス数を少なく感じました。あるいは大方こんなものなんでしょうか。HPのアクセス数が空欄になっておりますがカウンターは付いてなかったのでしょうか。 レファレンスは、誰に声をかければよいのか分からない。 個人予約については評価できる。利用者の声を拾い上げる策を検討しておく必要があるだろう。 				
	個人予約件数(件)	32,078	51,948	50,000		57,198	4							
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	—	—	—		—	—							
	ホームページアクセス件数(件)	—	—	—		—	—							
	分権型図書館					自己評価		外部評価						
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	14,178	14,721	14,800	前年に引き続き貸出・禁帯出の見直しを行うが数字としては現状維持	14,970	4	<ul style="list-style-type: none"> 昨年と比べて微増している。このまま郷土資料の整理を進めていく。 	1 大変評価する。 75% 2 ある程度評価する。 25% 3 評価できない。 0%	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料は大切な財産だと思うので、引き続き整理を進めてほしい。 年度による変化率が非常に小さく改めて地味な分野だと確認しております。しかし、「他市町村に新津の資料を」と言う訳に行かない手抜きの出来ない部分ですね。 県内外の情報を集め、さらに収集を計られるとよい。 				
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	1,845	1,986	2,000		2,079	4							
	学・社・民融合型図書館					自己評価		外部評価						
	児童書の貸出冊数(冊)	82,685	88,976	87,000	貸出冊数については亀田図書館開館に伴い、減ると想定。事業関係については現状維持と想定	87,732	3	<ul style="list-style-type: none"> 昨年と比べて減少した。亀田図書館開館と併せて、特に新津図書館改築工事による駐車場の減少が原因として大きい。車で来館する親子連れが減っているのが原因である。 	1 大変評価する。 12.5% 2 ある程度評価する。 50% 3 評価できない。 25%	<ul style="list-style-type: none"> 仕方ないのかも。新しい図書館になったら期待したい。 駐車場が不足し、図書館へ行くのもおっくうになっている。玄関前のスペースを利用できないだろうか。 始めて接するテーマです。全体に対する児童生徒の比率を大きく感じました。インターシップに時代の流れが見えます。 新津図書館は、幼児向けの絵本は結構数があるが、小・中学生向けの小説の数が少ない。 改装後の経緯を見守っていききたい。近隣の小中高生を受け入れ、職場体験を実施するとよい。また、出張授業もよい。ただし、各校での活動の相違(特徴)をもたせることが課題であろう。 駐車場の減少だけが原因なのか検証を。 				
	小中学生への貸出冊数(冊)	35,893	41,265	40,000			38,264							1
	子ども・親子対象事業の参加者数(人)	3,170	3,173	3,200			2,844							1
	職場体験受入人数(人)	0	10	10			12							3
	講師等としての派遣職員数(人)	6	0	2			1							2
	パートナーシップ型図書館					自己評価		外部評価						
図書館事業のボランティア活動者数(人)	428	850	900	書架整理・ブックスタートなど活動者の増加を予想	1,039	4	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動者数に順調に伸びている。書架整理ボランティア事業が特に大きい。共催事業も昨年と同じである。 	1 大変評価する。 75% 2 ある程度評価する。 25% 3 評価できない。 0%	<ul style="list-style-type: none"> 書架整理ボランティアが伸びているのは嬉しいことだが、読み聞かせのボランティアがどのグループも減少傾向にあるようにきく。 ボランティア活動の年齢層を知りたく思います。東日本大災害を契機に日本にもボランティア活動が定着してきたことが判るデータですね。 ボランティア活動数の増加は十分に評価できる。また、共催事業も計画的に行われていると思われ評価できる。 					
ボランティア団体交流会参加者数(人)	—	—	—		—	—								
利用者懇談会の開催回数(回)	—	—	—		—	—								
共催事業の実施回数(回)	7	6	6	昨年度までの実績から設定	6	3								
運営(職員)					自己評価		外部評価							
研修参加職員数(人)	5	9	9	前年度並を設定	13	4	<ul style="list-style-type: none"> 著作権セミナーやデジタルアーカイブ・電子書籍についてなど、新しい知識情報を得るため積極的に参加した。 	1 大変評価する。 75% 2 ある程度評価する。12.5% 3 評価できない。 12.5%	<ul style="list-style-type: none"> 新しいことを学んで、図書館運営に生かしてほしい。 延人数だと思いますが、司書に対する研修の機会はこんなに少ないのですか。始めて知りました。改善を要求する大きなテーマではないでしょうか。 予算、時間の少ない中、積極的な参加は十分評価できる。 					

※施策・事業の評点は1:目標値を大きく下回った 2:目標値を少し下回った 3:目標どおり達成 4:目標値を上回って達成
 ※教育ビジョン:市教育委員会が策定した指針、組織目標:市が実施している組織ごとの行政評価